

平成 28 年(2016 年)12 月 27 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

タマネギべと病の発生状況と防除対策

このことについて、12 月下旬の調査において、本ぽでの発生が確認されました。今後、昨年に続き越年罹病株の早期発生、多発が懸念されます。

つきましては、以下のとおり防除対策の徹底をお願いします。

1 発生状況

12 月 21 日～22 日に、本ぽ 20 ほ場、苗床（採苗後に残された苗）4 ほ場を調査した結果、本ぽ 1 ほ場で、葉上に灰色の胞子を形成した罹病株が確認された（写真 1, 2）。

2 今後の予想

（1）対象地域 県内全域

（2）発 生 量 多

向こう 1 か月の気象予報（12 月 22 日発表）では、気温は高く、降水量が多いことから、越年罹病株の発生が早く、多発生が予想される。

3 防除対策

- （1）ほ場をよく観察し、罹病株を確認した場合は抜き取ったうえで、治療効果のある薬剤（殺菌剤コード 11, 27, 40 等）で直ちに防除を行う。発病が確認できない場合は、マンゼブ剤（殺菌剤コード M 3）等の保護殺菌剤で防除を行う。
- （2）1 月～3 月にかけて越年罹病株（写真 3）の抜き取りを行う。越年罹病株は、この期間に連続して発生することから、抜き取りは 1 回だけでなく随時行う。
- （3）畝間に滞水しないよう排水対策を実施する。
- （4）収穫までの防除スケジュール、使用薬剤等について、地域の栽培暦等に基づき防除計画を立てておく（図 1, 表 1）。

4 防除上注意すべき事項

- （1）本病に登録のある薬剤は混合剤が多いことから、有効成分名及び殺菌剤コードを確認し、同一系統の薬剤を連用しないようにする。また、同一有効成分の使用回数に注意する。
- （2）抜き取った越年罹病株は、ほ場外に持ち出し、ビニール袋等に密閉するか、土中に埋めるなど適正に処分する。
- （3）薬剤の付着をよくするため、水和剤は展着剤を加用する。
- （4）薬剤防除を行う場合は、周辺の作物に農薬が飛散しないように注意する。



写真1 タマネギベと病罹病株
(平成 28 年 12 月 21 日撮影)



写真2 葉上での胞子の形成



写真3 タマネギベと病の越冬罹病株

二次感染前 (2月下旬頃まで)

2次感染予防

- ・マンゼブ剤(M3)で定期的に防除
- ・越冬罹病株があれば抜き取り後、治療剤(11,27, 40等)で直ちに防除

越冬罹病株の抜き取り(随時)

二次感染期

3月上旬～4月

感染拡大防止

- ・治療剤のローテーションによる防除
- ・殺菌剤コード
4→11→27→40
など

図1 タマネギベと病の防除指針(例)

表1 タマネギべと病の主な防除薬剤一覧(平成28年12月現在)

系統	殺菌剤コード	一般名	商品名	希釈倍数・使用量 散布流量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数
アミド、ー	4 M5	メタラキシルM・TPN水和剤 3,3,32%	フォリオゴールド(普)	800～1000倍,100～400リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	メタラキシル及びメタラキシルM4回以内(但し、種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)、TPN6回以内
有機硫黄、アミド	M3 4	マンゼブ・メタラキシルM水和剤 64,3,8%	リドミルゴールドMZ(普)	1000倍、100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	マンゼブ5回以内、メタラキシルおよびメタラキシルM4回以内(但し、種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
アミド、ー	7 M5	ベンチオビラド・TPN水和剤 6,4,40%	ベジセイバー (普)	1000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	ベンチオビラド4回以内,TPN6回以内
ストロビルリン	11	アゾキシストロビン水和剤 20%	アミスター20フロアブル(普)	2000倍,100～300リットル/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内
		ピコキシストロビン水和剤 22,5%	メジャーフロアブル(普)	2000倍,100～300リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	ピコキシストロビン3回以内
ストロビルリン、ー	11 M5	アゾキシストロビン・TPN水和剤 5,1,40%	アミスターオブティフロアブル(普)	1000倍,100～400リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内,TPN6回以内
ストロビルリン、アミド	11 7	ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤 6,7,26,7%	シグナムWDG(普)	1500倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ピラクロストロビン4回以内(但し、定植前は1回以内、定植後は3回以内)、ボスカリド4回以内(但し、定植前は1回以内、定植後は3回以内)
ー、ストロビルリン	27 11	シモキサニル・ファモキサド水和剤 30,22,5%	ホライズンドライフロアブル(普)	2500倍,100～300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ファモキサド3回以内
ー	21	シアゾファミド水和剤 9,4%	ランマンフロアブル(普)	2000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	シアゾファミド4回以内
ー、ー	21 27	アミスルブロム・シモキサニル水和剤 17,30%	ダイナモ顆粒水和剤(普)	2000倍,100～300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	アミスルブロム3回以内、シモキサニル3回以内
ー、ー	27 M5	シモキサニル・TPN水和剤 24,60%	ブリザード水和剤(普)	1200倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内,TPN6回以内
ー、ー	27 40	シモキサニル・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤 24,10%	ベトファイター顆粒水和剤(普)	2000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内
ー	29	フルアジナム水和剤 50%	フロンサイド水和剤(普)	1000～2000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	フルアジナム6回以内(但し、苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内)
ー、ー	40 M5	ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤 5,50%	プロボーズ顆粒水和剤(普)	1000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内,TPN6回以内
アミド	40	マンジプロバミド水和剤 23,3%	レーバスフロアブル(普)	2000倍,100～300リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	マンジプロバミド2回以内
ー・有機硫黄	40 M3	ベンチアバリカルブイソプロピル・マンゼブ水和剤 3,75,70%	カンパネラ水和剤(普)	750～1000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内、マンゼブ5回以内
アミド、ー	43 28	フルオビコリド・プロバモカルブ塩酸塩 5,5,55,5%	リライアブルフロアブル(普)	500倍,100～300リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	フルオビコリド3回以内、プロバモカルブ塩酸塩 2回以内
アミド、ー	43 40	フルオビコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤 33,12%	ジャストフィットフロアブル(普)	3000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	フルオビコリドは3回以内、ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内
ー、ー	45 40	アメトクトラジン・ジメトモルフ水和剤27,0%, 20,3%	ザンブロDMフロアブル (普)	1500～2000倍、100～300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	アメトクトラジン3回以内、ジメトモルフ3回以内
銅	M1	銅水和剤 84,1%	ドイツボルドーA(普)	500～1000倍,100～300リットル/10a	ー	ー	散布	ー
		銅水和剤 58%	Zボルドー (普)	500倍,100～300リットル/10a	ー	ー	散布	ー
		ノニルフェノールスルホン酸銅水和剤 40%	ヨネボン水和剤(普)	500倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅5回以内
有機硫黄	M3	マンゼブ水和剤 80%	ジマンダイセン水和剤(普)	400～600倍,100～300リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	マンゼブ5回以内
ー	M5	TPN水和剤 40%	ペンコゼブ水和剤(普)					
ー	M5	TPN水和剤 40%	ダコニール1000(普)	1000倍,100～300リットル/10a	収穫7日前まで	6回以内	散布	TPN6回以内